

第4回 国連 CEFACT 観光部会議事録（案）

- 日時 2020年9月17日(木) 14:00～16:15
- ▶ Go to Meetingにて
<https://global.gotomeeting.com/join/175632373>
- 出席者 坂井永一、鈴木耀夫、大西修一、西澤清一、堀田和雄、中込昌治、田中幹夫、高梨洋一郎、板垣和芳、下田喜美雄
- ▶ 資料
 - ①国連 CEFACT 観光部会（9月）議題
 - ②ST プロジェクトについて
コロナ（感染症）時代の旅行の課題
 - ③EP s Development Schedule(Draft) Updated
 - ④Revisit to EPs Itinerary
 - ⑤その他
 - 1) 国連 CEFACT の動き
 - 2) 第5回全国温泉サミットについて
- ▶ 議事
 1. 資料①に基づき説明（鈴木以下敬称略）
 - ・本日の議題及び主たる進行方
 2. 資料②に基づき説明（田中）
 - ・14日に行われたUN/CEFACT T/T部会の議論を踏まえ今後の進め方を説明
 - ・資料及び現下状況からSTPJの今後の新しい活動テーマを模索する。
 - ・特にコロナ対応のSafety Indexの検討では下記の意見があった。相手国の受け入れ情報が詳しく知ることが望まれる（西澤）。JTREC単独でまとめるだけでなく、関連他の業務機関と共同して検討の推進ができないか（田中）。Visa, Passportの関係からの情報の入手は意味がないか（坂井）。コロナ対応のプロジェクトを新たに起こせないものか（田中）。他の業務機関でのこの種の動きについて情報を集めて欲しい（鈴木）。この種の情報を共有する情報サイトが必要といえる。このためには情報の形式を標準化することが求められる。まずは整理の仕方を大きくとらえたViewの作成から始めたい（中込）。

アプリでの接触情報を国際的に共有化することが必要になるのではないか。欧州の動きも踏まえて推進できると良いが(堀田)。

3. 資料③④に基づき説明(鈴木)

・フローチャートを構築中、各委員検証し、追加・変更等の意見募集

下記のような意見交換があった。

UN/CEFACT の方法でまとめた内容が使用する事業者を理解されるようにする努力が求められる(堀田)。

成果物はできる限り分かり易いものとしたい。Technical Guide はこのために作成される(鈴木)。

BIE の表記では決められたものが UN/CEFACT であるのか(中込)。

これはある。UN/CEFACT の成果物は全て作成する時の仕様が定められている(鈴木)。

4. 資料⑤に基づき説明(鈴木)

国連フォーラムと温泉サミットについての説明と参加方法の説明

・下記のような意見交換があった。

国連フォーラムでは意見を言わないでも参加をして良いか(西澤)。

これは全く構わない。せっかく Web 会議で開催されるので、議論の推移をできる限り多くの Expert (国連フォーラムの参加ではこの登録が前提) に聞いて欲しい(鈴木)。

以上